

令和5年度 第2回 浜松市立神久呂中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年8月7日（月） 午後1時30分から午後2時45分まで
- 2 開催場所 浜松市立神久呂中学校 大会議室
- 3 出席委員 池谷 昭広、谷井 文明、池谷 友美子、内藤 由美香、加藤 六明、宮澤 俊英、
伊藤 直樹、鈴木 千丸
- 4 欠席委員 原田 功
- 5 オブザーバー 村松 俊司（神久呂協働センター所長）、和久田 ゆかり（主任児童委員）
- 6 学 校 今明 薫（校長）、榊原 早苗（教頭）、小栗 慎二（教務主任）、中島 潤（CS担当）、
河合 恭子（CS担当）、高野 雄太（1年学年主任）、鈴木 佳子（2年学年主任）、
森田 美和（CSディレクター）
- 7 教育委員会 牧野 知子（浜松市教育委員会教育総務課）
- 8 傍聴人 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 森田 美和
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、内藤由美香委員を推挙する旨の発言があり出席委員全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）総合的な学習の時間について
 - ①1年生の地域学習について
 - ②2年生の職場体験学習について
- （2）家庭科の授業支援について
- （3）3年生の進路面接指導について

12 会議記録

司会の中島から、委員総数8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）総合的な学習の時間について

各学年からどのような学習活動を計画しているのか説明し、コーディネーターの加藤委員、谷井委員から現況の説明をしていただいた。

①1年生の地域学習について

議長の指示により、1年主任の高野より地域学習の実施計画に関する説明があり、コーディネーターの谷井委員、他委員から以下の発言があった。

- ・現在の進捗状況は、まだ検討している段階で、これから学校からの希望を踏まえながら進める段階である。スマート農業というと、実際に経験している企業でないと分からないことが多い。レタスをLEDで育てている大きな企業や組合など、組織でやっているところがほとんどで、神久呂地区で大規模なスマート農業を行っているところを探しているが、なかなか見つからず模索している。農業だけではなく、食育関係の関連の見学なども取り入れたらどうだろうか。スマート農業のみにとらわれず、臨機応変に、元々農業をやっていた方、里山をやっている方などのお話を聞くのも一つの案だと思う。なるべく1案と2案を融合していく

形で進めて行きたいと思う。(谷井委員)

- ・小規模農業やご家庭で行われている農業だとなかなか難しいと思う。小学校で体験した同じ活動はしたくないと考えている。子どもたちが、初めての活動を通して、興味や関心を持ち、意欲的に進められるような活動にしたい。せっかく2日間の時間をかけるのだから、小学校では体験できなかったことを学ばせてあげたいと思う。企業選びは難しいと思うが、よろしくお願ひしたい。(高野先生)
- ・知り合いにベトナムで大規模にスマート農業をやっている人がいて、ITを使って企業と一緒に東京ドーム10個分の広さで行っている。ベトナムということや、規模が全然違うので難しいが、浜松ではなかなかスマート農業を行っている所はあまりなく、見つけるのは難しい。この地域では小規模な農家がほとんどだ。1年生の学習の考えとマッチすれば、知り合いに話してみてもいい。(加藤委員)
- ・小さい規模でやっている所はスマート農業をやるのは無理だろう。億単位の初期投資がかかるし、この辺りの農家だととても無理だろう。今の農業と未来の農業では、何が取り入れられて、何が無くなっていくのか、また何が取り入れられないのか、いろいろな知識をもち発表できるようにしていきたい。ベトナムとスカイプで繋げるのも一案であると思う。(高野先生)
- ・実態の把握、神久呂地区ではどのように農業が行われているのか知るのも大切だと思う。自分の家の周りには茶畑があったが、宅地になったり、造成されたりしている。先ばかり見るのではなく、現状を知ること学習の一つではないだろうか。(池谷会長)

②2年生の職場体験学習について

議長の指示により、2年主任の鈴木より2年生の職場体験学習を受け入れ候補の企業や店舗のリストを参考に説明があり、コーディネーターの加藤委員から進捗状況について説明、委員から以下の発言があった。

- ・昨年の職場体験で受け入れてくれた企業や店舗に協力をお願いしている。昨年と実施する曜日が違うので、定休日だったり都合が合わなかったりするところは、他の職場を探している。また、近隣の中学校で受け入れてくれている企業も当たっている。他の学校を受け入れているので、実績がありこちらとしても安心してお願いできる。うまくいけば企業様とこれからもよい関係が築けるだろう。職場体験前にきちんと生徒にあいさつや言葉遣いなどの礼儀やマナーを教えておいてほしい。大体の企業は2~5人くらい受け入れ可能で、最大人数で考えるとクリアしているが、少なく見積もると80名くらいの受け入れ人数を確保している。電話しても担当者が不在でつながらないところもあるが、中途半端な状態はよくないので、学校と相談しながら進めていきたい。(加藤委員)
- ・西山病院の職員の子供を預かっている所からの紹介で、西山病院の担当者とお話できた。その際に、職場体験の受け入れを依頼したところ可能だという回答をもらった。今まではコロナで受け入れができなかったが、今回はハーネスという未来型の施設で、軽度患者の介護の補助の体験をしていただきたいとのことだ。受け入れ人数は10名程度だが、複数人の生徒の方が体験しやすいだろうとのことだった。また、リハビリや介護の専門家の講演もできるそうなので、依頼があれば準備していただけるとのことだった。せっかく神久呂地区にある病院だから、地域のものとして恩返しできればと思っている。(池谷由委員)
- ・今コロナがまた流行りだしているので、10月くらいに急激に感染者が増加したら学校も困

るだろうと思い病院や介護施設の体験は避けていたが、西山病院からありがたいお話をいただき感謝している。(加藤委員)

(2) 家庭科の授業支援について

議長の指示により、中島から家庭科の授業支援について説明があり、加えてコーディネーターの加藤委員から支援の方向性などについての説明、委員から以下の発言があった。

- ・本校では今年度からの試みなので、どこから手を付けていいのか分からない状態だ。(加藤委員)
- ・予定表にあるように支援していただきたい時間が9時30分から12時20分までと長くなっている。1日あたり3時間となっているが、ずっと3時間通して協力いただけなくても、1時間のみ参加でも大変助かる。(中島先生)
- ・行事があり日程的が密になっているところもあるが、現状考えているのは、第一に保護者、次に協働センターで裁縫やお料理を教えている方々をお願いしようと思っている。保護者以外でどのくらい地域の方々が参加していただけるか気になるが、地域の方々が6、7人参加者を募りたいと思っている。小学校のボランティアも回覧板で時々回ってくるので、地域の方々への募集は回覧板でお知らせするのがよいのではないだろうか。(加藤委員)
- ・小学校でのボランティアはミシンで、1テーブルに1人ずつボランティアがつくようになっている。(池谷由委員)
- ・70歳くらいの高齢の方々が協力してくださるのではないだろうか。「こんな私でも役に立ててうれしい」と喜んで参加してくれると思う。(宮澤委員)
- ・協力してくださる人は簡単に集められると思う。(池谷由委員)
- ・シニアの方々にとってもよいと思う。(宮澤委員)
- ・時間がある人が多いだろうからボランティアの募集はよいと思う。(池谷由委員)
- ・孫と同じくらいの歳の子を教えたいと思うのではないだろうか。(宮澤委員)
- ・これはいつまでに人員を集めるのか。(宮澤委員)
- ・初回が9月6日なので、その2日前までには参加を募りたい。8月26日くらいまでに参加していただける方が分かれば調整しやすいだろう。募集も1期、2期と何回かに分けてするのもよいだろう。(中島先生)
- ・急でも何日に何人ボランティアの方々が必要だと分かれば、動けるので教えていただければ人員を集められるかもしれない。(宮澤委員)
- ・保護者にはこのボランティアの話は連絡がいつているのか。(内藤委員)
- ・この会議が終わってから、保護者には連絡する予定だ。(中島先生)
- ・小学校では急にボランティアの方が必要になることがある。生徒の進み具合で予定通りには進まず、個々の差ができてしまうことがある。(池谷会長)
- ・多くの人に参加していただき、支援をする中で生徒の様子を知っていただく機会にもなればよいと思う。(内藤委員)

(3) 3年生の進路面接指導について

議長の指示により、3年主任の中島から、進路面接指導の計画の説明があり、その後、コーディネーターの谷井委員から補足説明、委員から以下の発言があった。

- ・昨年と同様、CSの委員のみなさんに協力いただきたい。昨年は8人で3グループに分かれて

面接を行った。5人一組になった生徒たちに3つくらいの題材を与え、自分の意見や考えをそれぞれ語ってもらった。生徒からの感想はとてもよく、「やってもらってよかった。」「緊張したけれどよい練習になった。」などがあり、3年生にとって有意義な活動になった。本番に近い緊張感が味わえたのではないだろうかと思う。今年も委員の中でやっていただけたらと思うが、いかがだろうか。生徒への質問や題材のレジュメは先生方に作っていただくため、その点は心配いらないだろう。昨年は、聞き手に回って質問をアレンジしたり、3番の子、5番の子とランダムに答えさせることもした。(谷井委員)

- ・ 昨年の面接練習では、2人が質問をし、私はメモを取っていたが、他のグループではどのように行っていたか分からなかったので知りたい。(内藤委員)
- ・ 私も同じように、生徒の様子や発言をメモに取っていた。(池谷由委員)
- ・ 1人は書く人、2人は質問をする人と分担していた。(池谷会長)
- ・ 面接の時間に制限があり、外で待っている生徒も緊張していただろう。早く入れてあげたいと思った。(内藤委員)
- ・ 面接後の生徒の感想では、面接練習がとてもためになったと聞いている。今年も生徒のために協力していきたいと思う。面接練習の日程はまだ予定であるようだが、2日間のうちどちらか1日になるという考えでよいだろうか。(池谷会長)
- ・ どちらか1日に行うことになるので、よろしく願いしたい。(中島先生)

その他連絡事項

- ・ 司会から、次回令和5年度第3回の議会の開催時期は、令和5年12月12日(火)午後2時30分より授業参観をしていただき、その後、大会議室で開催する旨の報告があった。
- ・ 教育総務課より、学校運営協議会自己評価表についての説明があった。